

**国立大学法人及び大学共同利用機関法人の
第1期中期目標期間の教育研究の状況の
評価結果の確定に係る実施要項**

平成21年11月

**独立行政法人
大学評価・学位授与機構**

機構は、文部科学省の国立大学法人評価委員会から要請を受けて、国立大学法人及び大学共同利用機関法人(以下「法人」という。)の第1期中期目標期間の業務実績評価のうち、教育研究の状況について評価を実施します。

平成 16 年度から 19 年度までの4年間の教育研究の状況の評価(以下「平成 16～19 年度の評価」という。)は、その評価結果を、法人が自主的に行う組織・業務全般の見直しや次期中期目標・中期計画の策定に資するとともに、次期中期目標期間における運営費交付金の算定に反映させることができるようにするため、第1期中期目標期間終了に先立って実施しました。

今回は、第1期中期目標期間終了後に、教育研究の状況の評価結果を確定させるため、平成 20 年度及び 21 年度の事業を踏まえて、先に実施した平成 16～19 年度の評価結果を変更する必要性の確認を基本として、以下のとおり評価を実施します。

1. 評価結果の確定の実施方法について

今回は、中期目標の達成状況の評価結果及び学部・研究科等の現況分析結果を確定することになります。確定の実施方法については、平成 16～19 年度の評価方法を基本的に踏襲することになりますが、評価作業の負担軽減の観点から、平成 16～19 年度の評価との作業の重複をできるだけ避け、大学情報データベースのデータを活用し、以下のとおり実施します。また、訪問調査は行わず、書面により調査・分析を行います。

(1) 中期目標の達成状況評価

- 平成 20 年度及び 21 年度の実績を調査・分析し、中期計画の進捗状況を確認
- 確認は、法人から提出される「平成 20、21 年度 中期目標の達成状況報告書」及び大学情報データベースのデータ*を基に実施
- 項目ごとの達成状況の判断は、平成 16～19 年度の評価で実施した「積み上げ」方式を踏襲
- 平成 16～19 年度の評価において「改善を要する点」として指摘した事項について、その改善状況を確認

(2) 学部・研究科等の現況分析

- 平成 20 年度及び 21 年度の教育研究の実績を調査・分析し、平成 16～19 年度の評価結果からの変化を確認
- 確認は、大学情報データベースのデータ*及び法人から提出される資料を基に実施
- 分析項目ごとの水準の判断及び質の向上度の判断は、平成 16～19 年度の評価で実施した方式を踏襲
(平成 20 年度及び 21 年度に新たに設置された学部・研究科等については、平成 16～19 年度の評価と同様の方法で実施)

※ 大学情報データベースのデータの確認は、法人から提出される資料の有無にかかわらず、行います。その結果、データに顕著な変化が認められた場合には、法人に確認事項として照会し、平成 16～19 年度の評価結果を変更することもあります。

2. スケジュール

| | |
|----------------|--------------------------|
| 平成 22 年6月末 | 資料の提出(法人) |
| 〃 | 大学情報データベースへのデータ入力(法人) |
| 平成 22 年7月～12 月 | 書面調査(機構) |
| 平成 23 年1月～2月 | 意見申立て(法人) |
| 平成 23 年3月 | 国立大学法人評価委員会へ評価報告書を提出(機構) |

3. 法人が提出する資料等について

(1) 基礎的なデータ収集 《必ず入力》 3 頁

評価に当たっては、基礎的なデータとして大学情報データベースに入力されたデータを活用します。法人は期限までに必ずデータを入力してください。

(2) 中期目標の達成状況評価

○「平成 20、21 年度中期目標の達成状況報告書」《必ず提出》 4～8 頁

法人は、平成 20 年度及び 21 年度における各中期計画の実施状況とその成果について、記述してください。なお、平成 16～19 年度の評価結果(段階判定)を変えようような顕著な変化があったと判断した中期計画については詳細に記述してください。

法人は、平成 16～19 年度の評価結果において「改善を要する点」として指摘された事項については、その改善状況を記述してください。

(3) 学部・研究科等の現況分析

平成 16～19 年度の評価を当該学部・研究科等が受けているかいないかによって、提出資料が異なります。

1) 平成 16～19 年度の評価を受けている学部・研究科等 9 頁

○「現況分析における顕著な変化についての説明書」《法人判断で提出》 10～11 頁

法人は、平成 20 年度及び 21 年度の実績によって、平成 16～19 年度の評価結果(段階判定)を変えようような顕著な変化があったと判断した場合のみ記述してください。

※ ただし、平成 16～19 年度の評価において判定がなされていない分析項目(観点単位)等を持つ学部・研究科等の提出資料については、2) に準じて資料を作成してください。(該当する学部・研究科等については、別途法人に連絡します。)

○「学部・研究科等の研究業績」《必ず提出》 12～15 頁

分析項目「研究成果の状況」については、関連するデータベース項目がないため、研究業績に係る基礎的なデータを収集します。法人は、学部・研究科等の目的に照らして学部・研究科等を代表する非常に優れた業績[卓越した水準にある業績(SS)]と判断した業績について記述してください。

2) 平成 16～19 年度の評価を受けていない学部・研究科等

(平成 20 年度及び 21 年度に新たに設置された学部・研究科等) 9 頁

○「現況調査表」^{※1} 《必ず提出》

○「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト(I 表)」^{※2} 《必ず提出》

○「研究業績説明書(II 表)」^{※3} 《必ず提出》

法人は SS(卓越した水準)又は S(優秀な水準)と判断した業績を記述してください。

※ 1～3の資料の作成に当たっては、『実績報告書作成要領(平成 20 年 4 月作成)』3～16 頁、27～39 頁を参照してください。

(4) 資料の提出方法

提出資料は、書面及び電子媒体で、平成 22 年 6 月 30 日までに当機構評価事業部評価第 2 課へ提出してください。詳しい提出方法は決まり次第、当機構ウェブサイト(<http://www.niad.ac.jp/>)にて掲載しますのでご確認をお願いします。

(1) 基礎的なデータ収集

大学情報データベースの入力

大学情報データベースのデータを基に、平成 20 年度及び 21 年度の教育研究の実績を把握し、評価を行います。

法人は、平成 20 年度及び 21 年度に係るデータを、以下の入力期限のとおり入力してください。特に、共通調査票については、すべての項目の入力をお願いします。

【入力期限】

平成 20 年度実績データ
平成 21 年度員数データ → 平成 21 年 9 月 30 日(水)

平成 21 年度実績データ → 平成 22 年 6 月 30 日(水)

(2) 中期目標の達成状況評価

中期計画の実施状況の確認

平成 20 年度及び 21 年度における実施状況とその成果において、※平成 16～19 年度の評価結果(段階判定)を変えうるような顕著な変化があったか。

※印の「顕著な変化」については、中期計画の内容にもよるので各法人で判断してください。

顕著な変化はなかった

実施状況を記述する必要はありません。
ただし、平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している中期計画としてまとめて記述してください。

6頁 ⑥参照

顕著な変化があった

当該中期計画の平成 20 年度及び 21 年度の取組や活動の内容及び成果の状況について、実施状況が明確に理解できるよう根拠となる資料・データを示して記述してください。

6頁 ⑦参照

注) 中期目標(小項目、中項目)の達成状況の判断、特記事項(優れた点、改善を要する点、特色ある点)などの記述は求めません。

「改善を要する点」の改善状況の確認

平成 16～19 年度の評価において「改善を要する点」として指摘があったか。

指摘はなかった

記述する必要はありません。

指摘があった

「改善を要する点」として指摘された事項について、その改善状況を記述してください。

7頁 ⑨参照

○平成 20、21 年度 中期目標の達成状況報告書

【中期目標の達成状況報告書】

- 中期目標の達成状況報告書は、A4 横長・横書きとし、両面印刷（表紙・目次を除く）としてください。
- 原則として明朝体とし、日本語は全角、英字は半角、一桁の数字は全角、二桁以上の数字は半角を、それぞれ使用してください。
- 目次を付け、中央下に通し番号を付けてください。（表紙・目次を除く。）
- 各頁の右上に法人名を記述してください。（表紙を除く。）
- 資料・データはすべて別添としてください。

平成 20、21 年度 中期目標の達成状況報告書

平成 22 年 6 月

〇〇大学

〇〇大学

目 次

I. 中期目標の達成状況

- 1 教育に関する目標の達成状況 1
- 2 研究に関する目標の達成状況 ○
- 3 社会との連携, 国際交流等に関する目標の達成状況 . . . ○

II. 改善を要する点についての改善状況 ○

I. 中期目標の達成状況

1 教育に関する目標（大項目）

| | |
|-----|------------------------|
| 中項目 | 1 教育の成果に関する目標 ① |
|-----|------------------------|

| | | | | |
|--------------------|----------------|-----|--|--|
| 小項目番号 | ② 小項目 1 | 小項目 | ③ | |
| 計画番号 | 中期計画 | | 平成 20 年度及び 21 年度における実施状況 | |
| 下記以外の 中期計画 | / | | 平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している ⑥ | |
| 計画 1-2 ④ | | | ⑤ | (別添資料×-×-1, p1)。..... ⑦ (別添資料×-×-2, p2)。 |
| 計画 1-6 | | | | (別添資料×-×-3, p3)。 |

| | | | |
|-------|-------|-----|--------------------------------|
| 小項目番号 | 小項目 2 | 小項目 | |
| 計画番号 | 中期計画 | | 平成 20 年度及び 21 年度における実施状況 |
| 全中期計画 | / | | 平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している。 |

| | | | |
|---------------|-------|-----|--------------------------------|
| 小項目番号 | 小項目 3 | 小項目 | |
| 計画番号 | 中期計画 | | 平成 20 年度及び 21 年度における実施状況 |
| 下記以外の 中期計画 | / | | 平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している。 |
| 計画 3-5 | | | |

留意事項

- **①～⑤**の欄には、上記に該当する平成 16～19 年度の評価の際に提出した「中期目標の達成状況報告書」に記載している中期目標・中期計画の内容及び番号を記述してください。
- **⑥**の欄には、当該中期計画の平成 20 年度及び 21 年度における実施状況とその成果を踏まえて、平成 16～19 年度の評価の際に提出した「中期目標の達成状況報告書」に記載された取組等が、平成 20 年度及び 21 年度においても継続して実施している場合は、「平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している」のように小項目ごとにまとめて記述してください。
- **⑦**の欄には、当該中期計画の平成 20 年度及び 21 年度における実施状況とその成果を踏まえて、平成 16～19 年度の評価結果（段階判定）を変えうるような顕著な変化があった場合、平成 20 年度及び 21 年度における実施状況が明確に理解できるよう根拠となる資料・データを別添資料等として示し、簡潔に記述してください。

- ※ **字数の上限**：1 中期計画につき、最大 400 字を目安とし記述してください。
 - ※ **別添資料**：別添資料を参照するには、資料番号と頁数を文中や文末に記入してください。
 - ※ **大学情報データベース**：大学情報データベースのデータを引用するには、文中、文末に以下のとおり記入してください。
 なお、根拠資料として添付する必要はありません。
 - 参照する基礎資料の略称
 - ①達成状況判定用基礎資料（データ分析集）..... 資料 B1
 - ②達成状況判定用基礎資料（入力データ集）..... 資料 B2
- 【具体的な記載例】**
- ①達成状況判定用基礎資料（データ分析集）の場合
 （資料 B1-2008 データ分析集：No. 2. 入学定員充足率）
 - ②達成状況判定用基礎資料（入力データ集）の場合
 （資料 B2-2008 入力データ集：No. 3-1 学生年次別）

Ⅱ. 「改善を要する点」についての改善状況

| 改善を要する点 | 改善状況 |
|--|--|
| <p>【教育】</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: center;">⑧</p> | <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: right;">(別添資料×-×-5, p5)</p> <p style="text-align: center;">⑨</p> |
| <p>【研究】</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> | <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: right;">(別添資料×-×-6, p6)。</p> |
| <p>【社会等】</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> | <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: right;">(別添資料×-×-7, p7)。</p> |

-〇-

留意事項

■ ⑧の欄には、平成16～19年度の評価結果において「改善を要する点」として指摘された事項を原文どおり転記してください。冒頭には【括弧書き】で当該「改善を要する点」が指摘された大項目名（教育、研究、社会等のいずれか）を記述してください。

■ ⑨の欄には、平成16～19年度の評価結果において「改善を要する点」として指摘された事項に対して、平成20年度及び21年度中における改善に向けた具体的な取組やその実施状況及び成果を、根拠となる資料・データを別添資料等として示し、簡潔に記述してください。

※ 字数の上限：1つの「改善を要する点」につき、最大400字を目安とし記述してください。

※ 別添資料：別添資料を参照する際には、資料番号と頁数を文中や文末に記入してください。

※ 大学情報データベース：大学情報データベースのデータを引用する際には、文中、文末に以下のとおり記入してください。

なお、根拠資料として添付する必要はありません。

○参照する基礎資料の略称

①達成状況判定用基礎資料(データ分析集)・・・資料B1

②達成状況判定用基礎資料(入力データ集)・・・資料B2

【具体的な記載例】

①達成状況判定用基礎資料(データ分析集)の場合
(資料B1-2008 データ分析集：No.2.入学定員充足率)

②達成状況判定用基礎資料(入力データ集)の場合
(資料B2-2008 入力データ集：No.3-1学生年次別)

○平成 20、21 年度 中期目標の達成状況報告書（別添資料）

【別添資料】

- 中期目標の達成状況報告書（別添資料）は、原則としてA4縦長・横書きとし、両面印刷（表紙・目次を除く）としてください。
- 原則として明朝体とし、日本語は全角、英字は半角、一桁の数字は全角、二桁以上の数字は半角を、それぞれ使用してください。
- 目次を付け、中央下に通し番号を付けてください。（表紙・目次を除く。）
- 各頁の右上に法人名を記述してください。（表紙を除く。）
- 別添資料は公表するため、不開示情報等公表にふさわしくない資料・データの扱いについてはご留意ください。
- 資料・データには、法人や学部、研究科等で作成した自己評価報告書や外部評価報告書の該当部分等も活用できます。
- 機構の評価にあたり、資料・データが不足していると判断される場合には、関係資料の追加提出を求めることがあります。

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月

〇〇大学

〇〇大学

目 次

資料 1-1-1 〇〇の取組に対するアンケート調査結果・・・1
 資料 1-1-2 学生による授業評価結果・・・・・・・・・・〇
 資料 1-1-3 カリキュラム新旧対応表・・・・・・・・・・〇
 ・
 ・
 ・
 ・

〇〇大学

資料 1-1-1 〇〇の取組に対するアンケート調査結果

| | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

教育学部

経済学部

文学部

理学部

(出典：「平成 20・21 年度 〇〇大学『〇〇』に対する学生アンケート調査報告書」p11)

- 1 -

留意事項

■別添資料：資料・データ番号や資料・データ名を記入し、出典等を記載してください。また、記載されている資料・データの内容がいつの時点のものであるのか（アンケートの実施年度や競争的外部資金の採択年度等）を明記してください。

■頁数の上限：別添資料の頁数の上限は、顕著な変化があった中期計画の数と、「改善を要する点」として指摘された事項の数との合計数としてください。

(3) 学部・研究科等の現況分析

1) 平成 16～19 年度の評価を受けている学部・研究科等

現況分析における顕著な変化についての説明書

平成 20 年度及び 21 年度の実績によって、※平成 16～19 年度の評価結果(段階判定)を変えうるような顕著な変化があったか。

※印の「顕著な変化」については、学部・研究科等の目的に照らして、想定する関係者の期待に込えているかという視点により、各法人で判断してください。

顕著な変化はなかった

「現況分析における顕著な変化についての説明書」を提出する必要はありません。

顕著な変化があった

「現況分析における顕著な変化についての説明書」を分析項目又は質の向上度の事例ごとに作成してください。

10～11 頁参照

学部・研究科等の研究業績

卓越した水準にある業績「SS」と判断した業績※について「学部・研究科等の研究業績」を作成し、提出してください。

12～13 頁参照

※ 平成 20 年 4 月から平成 22 年 3 月の間に公表された研究業績のうち、法人が当該学部・研究科等の目的に照らして、学部・研究科等を代表する非常に優れた研究業績と判断した業績

2) 平成 16～19 年度の評価を受けていない学部・研究科等 (平成 20 年度及び 21 年度に新たに設置された学部・研究科等)

「学部・研究科等の現況調査表」
「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」(Ⅰ表)
「研究業績説明書」(Ⅱ表)

『実績報告書作成要領(平成 20 年 4 月作成)』 3～16 頁、27～39 頁参照

○現況分析における顕著な変化についての説明書

現況分析における顕著な変化についての説明書

教 育

平成22年6月

〇〇大学

目 次

1

2. 〇〇研究科
4. ◇◇研究科

整理番号(法人番号)ⅩⅩ-(学部・研究科等番号)2-(通し番号)1

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育)研究

法人名 〇〇大学 学部・研究科等名 〇〇研究科

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名
分析項目・・・・・・・・・・

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由
○顕著な変化のあった観点名・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・

(資料・データ番号)
資料データの内容
(出典)

・・・・・・・・・・・・・・・・

. . .

【現況分析における顕著な変化についての説明書】

●教育研究の水準に係る各分析項目及び質の向上度の事例において、平成16～19年度の評価結果(段階判定)を変えようような顕著な変化*があったと法人が判断する場合、本説明書を作成・提出してください。

※「顕著な変化」については、当該学部・研究科等の目的に照らして、想定する関係者の期待に答えているかという視点により、法人で判断してください。

●1分析項目又は質の向上度の1事例につき1頁で作成してください。頁を増やすことはできません。

●本説明書は公表するため、不開示情報等公表にふさわしくない資料・データの扱いについてはご注意ください。

●A4縦長・横書きとし、明朝体10.5ポイントで作成し(表紙・目次を除く)、**片面印刷**としてください。字数の制限はありませんが、左側2cm余白を設けてください。

●原則として明朝体で、日本語は全角、英字は半角、一桁の数字は全角、二桁以上の数字は半角を、それぞれ使用してください。

●目次の番号は、平成16～19年度の評価において提出した現況調査表の目次に記載している学部・研究科等番号を、記載してください。

(例)平成16～19年度の評価において提出した現況調査表目次

| 教育水準 | 研究水準 |
|----------|---------------|
| 1. 〇〇学部 | 1. 〇〇学部・〇〇研究科 |
| 2. 〇〇研究科 | 2. □□学部 |
| 3. □□学部 | 3. ◇◇研究科 |
| 4. ◇◇研究科 | 4. ◎◎研究所 |

○学部・研究科等の研究業績

学部・研究科等の研究業績

平成22年6月

○○大学

学部・研究科等の研究業績の件数一覧

1. ○○学部・○○研究科 ○件

2. □□学部 ○件

3. ◇◇研究科 ○件

4. ◎◎研究所 ○件

学部・研究科等の研究業績

法人番号 | XX | 法人名 | ○○大学 | 学部・研究科等番号 | 1 | 学部・研究科等名 | ○○学部・○○研究科

| 番号 | 細目番号 | 細目名 | 研究業績 (氏名、論文タイトル、 雑誌名、巻、ページ、 掲載年等) | 区分 | 意義 | 「卓越した水準にある業績 (SS)」と判断した 根拠 (第三者による評価結果や客観的指標等) 【ゴシック体 10 ポイント、200 字以内】 |
|----|------|-------|--|-------|----|--|
| 1 | xxxx | | | 1-a-ア | ア | |
| 2 | xxxx | | | 3 | イ | |
| 3 | xxxx | | | 2-a | ア | |

【学部・研究科等の研究業績】

●平成20年4月から平成22年3月の間に公表された研究業績のうち、法人が当該学部・研究科等の目的に照らして、学部・研究科等を代表する非常に優れた研究業績（当該分野において、卓越した水準にある業績「SS」※）と判断した業績について記載してください。

なお、公表されていないもの（グラ刷りの段階のものや、刊行予定又は採用は決定しているが未掲載のもの等）は対象となりません。

また、装置開発にあつては、完成された装置が対象となります。

※「SS」の判断基準については、『実績報告書作成要領（平成20年4月作成）』（11頁）「○学部・研究科等を代表する優れた研究業績の選定と提出資料の作成【研究業績の判断基準】」を参照してください。

●A4横長・横書きで作成し、片面印刷としてください。頁数の制限はありませんが、左側2cm余白を設けてください。

●「学部・研究科等の研究業績の件数」の学部・研究科等の番号は、平成16～19年度の評価において提出した現況調査表の目次に記載している学部・研究科等番号を、記載してください。

学部・研究科等ごとに、提出する研究業績数の件数を記載してください。

(例) 平成16～19年度の評価において提出した現況調査表目次

研究水準

1. ○○学部・○○研究科

2. □□学部

3. ◇◇研究科

4. ◎◎研究所

学部・研究科等の研究業績

法人番号 | XX | 法人名 | ○○大学 | 学部・研究科等番号 | 1 | 学部・研究科等名 | ○○学部・○○研究科 ①

| 番号 | 細目番号 ② | 細目名 ③ | 研究業績 (氏名、論文タイトル、 雑誌名、巻、ページ、 掲載年等) ④ | 区分 ⑤ | 意義 ⑥ | 「卓越した水準にある業績(SS)」と判断した根拠 (第三者による評価結果や客観的指標等) 【ゴシック体 10ポイント、200字以内】 ⑦ |
|----|-----------|----------|--|---------|---------|--|
| 1 | XXXX | ・・・ | XXXX、『○○』、○○、○ 号、○～○ページ、2009年 | 1-a-ア | ア | |
| 2 | XXXX | ・・・ | | 3 | イ | |
| 3 | XXXX | ・・・ | | 2-a | ア | |

留 意 事 項

■①：次の方法により記入してください。

法人番号：『実績報告書作成要領（平成20年4月作成）』（48頁）別紙6「国立大学法人等の法人番号一覧」参照

学部・研究科等番号：「学部・研究科等の研究業績の件数一覧」に記載する学部・研究科等の番号

■②、③：「平成21年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表」（14～15頁）を参照し、②欄には「細目番号」、③欄には「細目名」を記入してください。

■④：次の1)～5)のような内容を記載してください。

1つの欄に複数の論文を記載できませんので、代表的な論文を記載してください。ただし、同一の論文タイトルのもとに分割して掲載されている場合は、まとめて1つの研究業績として取り扱っても差し支えありません。

また、共著である場合には共著者名も記入してください。

なお、一部を省略しても構いませんが、共著者の総数が分かるよう「他、計○○名」としてください。

- 1) 「論文」 氏名、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ、掲載年等
- 2) 「著書」 氏名、著書の名称（著書の1つの章等を担当した場合、担当章等の名称・頁も記載）、出版社名、発行年
- 3) 「創作活動に基づく業績」 氏名、作品等名、作品等発表年、作品等発表場所
- 4) 「特許」 氏名、特許名、特許登録年
- 5) 「その他」 氏名、研究業績名、研究業績の発表年、研究業績の発表場所

■⑤：次の該当する番号を記入してください。（例：論文単著原著論文の場合 1-a-ア）

- 1) 論文 (a. 単著 b. 共著) (ア. 原著論文 イ. 総説 ウ. アイに該当せず)
- 2) 著書 (a. 単著 b. 共著)
- 3) 創作活動に基づく業績
- 4) 特許
- 5) その他

■⑥：ア)「学術的意義」又は イ)「社会、経済、文化的意義」のいずれか該当する記号を記入してください。

■⑦：「卓越した水準にある業績(SS)」と判断した根拠を、ゴシック体10ポイント、200字以内で記載してください。

平成 21 年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表

| 系 | 分野 | 分科 | 細目名 | 細目番号 | |
|---------|-------------|------------------|---------------------|-------------|------|
| 総合・新領域系 | 総合領域 | 情報学 | 情報学基礎 | 1001 | |
| | | | ソフトウェア | 1002 | |
| | | | 計算機システム・ネットワーク | 1003 | |
| | | | メディア情報学・アーカイブス | 1004 | |
| | | | 知能情報学 | 1005 | |
| | | | 知覚情報処理・知能モデル | 1006 | |
| | | | 感性情報学・ソフトウェア | 1007 | |
| | | | 情報図書館学・人文社会情報学 | 1008 | |
| | | | 認知科学 | 1009 | |
| | | | 統計科学 | 1010 | |
| | | | 生体生命情報学 | 1011 | |
| | | | 神経科学 | 神経科学一般 | 1101 |
| | | | | 神経解剖学・神経病理学 | 1102 |
| | 神経化学・神経薬理学 | 1103 | | | |
| | 神経・筋肉生理学 | 1104 | | | |
| | 実験動物学 | 実験動物学 | 1201 | | |
| | 人間医工学 | 医用生体工学・生体材料学 | 1301 | | |
| | | 医用システム | 1302 | | |
| | 健康・スポーツ科学 | リハビリテーション科学・福祉工学 | 1303 | | |
| | | 身体教育学 | 1401 | | |
| | | スポーツ科学 | 1402 | | |
| | 生活科学 | 応用健康科学 | 1403 | | |
| | | 生活科学一般 | 1501 | | |
| | 科学教育・教育工学 | 食生活学 | 1502 | | |
| | | 科学教育 | 1601 | | |
| | 科学社会学・科学技術史 | 教育工学 | 1602 | | |
| | | 科学社会学・科学技術史 | 1701 | | |
| | 複合新領域 | 文化財科学 | 文化財科学 | 1801 | |
| | | 地理学 | 地理学 | 1901 | |
| | | 環境学 | 環境動態解析 | 2001 | |
| | | | 環境影響評価・環境政策 | 2002 | |
| | | | 放射線・化学物質影響科学 | 2003 | |
| | | | 環境技術・環境材料 | 2004 | |
| | | ナノ・マイクロ科学 | ナノ構造科学 | 2101 | |
| | | | ナノ材料・ナノバイオインテグレーション | 2102 | |
| | | | マイクロ・ナノデバイス | 2103 | |
| | | 社会・安全システム科学 | 社会システム工学・安全システム | 2201 | |
| 自然災害科学 | | | 2202 | | |
| ゲム科学 | | 基礎ゲム科学 | 2301 | | |
| | | 応用ゲム科学 | 2302 | | |
| | ゲム情報科学 | 2303 | | | |
| 生物分子科学 | 生物分子科学 | 2401 | | | |
| 資源保全学 | 資源保全学 | 2501 | | | |
| 地域研究 | 地域研究 | 2601 | | | |
| | センター | 2701 | | | |
| 人文社会系 | 人文学 | 哲学 | 哲学・倫理学 | 2801 | |
| | | | 中国哲学 | 2802 | |
| | | | 印度哲学・仏教学 | 2803 | |
| | | | 宗教学 | 2804 | |
| | | | 思想史 | 2805 | |
| | | | 美学・美術史 | 2806 | |
| | | 芸術学 | 芸術学・芸術史・芸術一般 | 2851 | |
| | | | 日本文学 | 2901 | |
| | | 文学 | 英米・英語圏文学 | 2902 | |
| | | | ヨーロッパ文学(英文学を除く) | 2903 | |
| | | | 各国文学・文学論 | 2904 | |
| | | | 言語学 | 3001 | |
| | | 言語学 | 日本語学 | 3002 | |
| | 英語学 | | 3003 | | |
| | 日本語教育 | | 3004 | | |
| | 外国語教育 | | 3005 | | |
| | 史学 | 史学一般 | 3101 | | |
| | | 日本史 | 3102 | | |
| | | 東洋史 | 3103 | | |
| | | 西洋史 | 3104 | | |
| | | 考古学 | 3105 | | |
| | 人文地理学 | 人文地理学 | 3201 | | |
| | | 文化人類学 | 3301 | | |
| | 社会科学 | 法学 | 基礎法学 | 3401 | |
| | | | 公法学 | 3402 | |
| | | | 国際法学 | 3403 | |

| 系 | 分野 | 分科 | 細目名 | 細目番号 |
|--------------|---------------------|------------|-----------------|------------------|
| 人文社会系 | 社会科学 | 法学 | 社会法学 | 3404 |
| | | | 刑事法学 | 3405 |
| | | | 民事法学 | 3406 |
| | | | 新領域法学 | 3407 |
| | | 政治学 | 政治学 | 3501 |
| | | | 国際関係論 | 3502 |
| | | 経済学 | 理論経済学 | 3601 |
| | | | 経済学説・経済思想 | 3602 |
| | | | 経済統計学 | 3603 |
| | | | 応用経済学 | 3604 |
| | | | 経済政策 | 3605 |
| | | | 財政学・金融論 | 3606 |
| | | | 経済史 | 3607 |
| | | 経営学 | 経営学 | 3701 |
| | | | 商学 | 3702 |
| | | | 会計学 | 3703 |
| | | 社会学 | 社会学 | 3801 |
| | | | 社会福祉学 | 3802 |
| | | 心理学 | 社会心理学 | 3901 |
| | | | 教育心理学 | 3902 |
| | | | 臨床心理学 | 3903 |
| | 実験心理学 | | 3904 | |
| | 教育学 | | 4001 | |
| | 教育学 | 教育社会学 | 4002 | |
| | | 教科教育学 | 4003 | |
| | | 特別支援教育 | 4004 | |
| | | 数学 | 4101 | |
| | 数物系科学 | 数学 | 代数学 | 4101 |
| | | | 幾何学 | 4102 |
| | | | 数学一般(含確率論・統計数学) | 4103 |
| | | | 基礎解析学 | 4104 |
| | | | 大域解析学 | 4105 |
| | | 天文学 | 天文学 | 4201 |
| | | | 物理学 | 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理 |
| | | 物性 I | | 4302 |
| | | 物性 II | | 4303 |
| | | 数理解物理・物性基礎 | | 4304 |
| | | 原子・分子・量子力学 | | 4305 |
| | | 生物物理・化学物理 | | 4306 |
| | | 地球惑星科学 | 固体地球惑星物理学 | 4401 |
| | 気象・海洋物理・陸水学 | | 4402 | |
| | 超高層物理学 | | 4403 | |
| | 地質学 | | 4404 | |
| | 層位・古生物学 | | 4405 | |
| 岩石・鉱物・鉱床学 | 4406 | | | |
| 地球宇宙化学 | 4407 | | | |
| プラズマ科学 | 4501 | | | |
| 理工系 | 化学 | 基礎化学 | 物理化学 | 4601 |
| | | | 有機化学 | 4602 |
| | | | 無機化学 | 4603 |
| | | 複合化学 | 分析化学 | 4701 |
| | | | 合成化学 | 4702 |
| | | | 高分子化学 | 4703 |
| | 材料化学 | 機能物質化学 | 4704 | |
| | | 環境関連化学 | 4705 | |
| | | 生体関連化学 | 4706 | |
| | | 機能材料・デバイス | 4801 | |
| | 工学 | 有機工業材料 | 有機工業材料 | 4802 |
| | | | 無機工業材料 | 4803 |
| | | | 高分子・繊維材料 | 4804 |
| 応用物理学・工学基礎 | | 応用物性・結晶工学 | 4901 | |
| | | 薄膜・表面界面物性 | 4902 | |
| | | 応用光学・量子光学 | 4903 | |
| | | 応用物理学一般 | 4904 | |
| 機械工学 | 工学基礎 | 4905 | | |
| | 機械材料・材料力学 | 5001 | | |
| | 生産工学・加工学 | 5002 | | |
| | 設計工学・機械機能要素・トライブロジー | 5003 | | |
| | 流体工学 | 5004 | | |
| | 熱工学 | 5005 | | |
| 機械力学・制御 | 5006 | | | |
| 知能機械学・機械システム | 5007 | | | |

| 系 | 分野 | 分科 | 細目名 | 細目番号 | | |
|-------------|-----------|--------|------------------|-------|----------|------|
| 理工系 | 工学 | 電気電子工学 | 電力工学・電力変換・電気機器 | 5101 | | |
| | | | 電子・電気材料工学 | 5102 | | |
| | | | 電子デバイス・電子機器 | 5103 | | |
| | | | 通信・ネットワーク工学 | 5104 | | |
| | | | システム工学 | 5105 | | |
| | | | 計測工学 | 5106 | | |
| | | | 制御工学 | 5107 | | |
| | | 土木工学 | 土木材料・施工・建設材料 | 5201 | | |
| | | | 構造工学・地震工学・維持管理工学 | 5202 | | |
| | | | 地盤工学 | 5203 | | |
| | | | 水工学 | 5204 | | |
| | | | 土木計画学・交通工学 | 5205 | | |
| | | | 土木環境システム | 5206 | | |
| | | 建築学 | 建築構造・材料 | 5301 | | |
| | | | 建築環境・設備 | 5302 | | |
| | | | 都市計画・建築計画 | 5303 | | |
| | | | 建築史・意匠 | 5304 | | |
| | | 材料工学 | 金属物性 | 5401 | | |
| | | | 無機材料・物性 | 5402 | | |
| | | | 複合材料・物性 | 5403 | | |
| | | | 構造・機能材料 | 5404 | | |
| | | | 材料加工・処理 | 5405 | | |
| | | | 金属生産工学 | 5406 | | |
| | | プロセス工学 | 化工物性・移動操作・単位操作 | 5501 | | |
| | | | 反応工学・プロセスシステム | 5502 | | |
| | | | 触媒・資源化学プロセス | 5503 | | |
| | | | 生物機能・バイオプロセス | 5504 | | |
| | | 総合工学 | 航空宇宙工学 | 5601 | | |
| | | | 船舶海洋工学 | 5602 | | |
| | | | 地球・資源システム工学 | 5603 | | |
| | | | リサイクル工学 | 5604 | | |
| | | | 核融合学 | 5605 | | |
| | | | 原子力学 | 5606 | | |
| | | | エネルギー学 | 5607 | | |
| | | 生物系 | 生物学 | 基礎生物学 | 遺伝・ゲノム動態 | 5701 |
| | | | | | 生態・環境 | 5702 |
| 植物分子生物学・生理学 | 5703 | | | | | |
| 形態・構造 | 5704 | | | | | |
| 動物生理・行動 | 5705 | | | | | |
| 生物多様性・分類 | 5706 | | | | | |
| 生物科学 | 構造生物化学 | | | 5801 | | |
| | 機能生物化学 | | | 5802 | | |
| | 生物物理学 | | | 5803 | | |
| | 分子生物学 | | | 5804 | | |
| | 細胞生物学 | | | 5805 | | |
| | 発生生物学 | | | 5806 | | |
| 進化生物学 | 進化生物学 | | | 5807 | | |
| | 人類学 | | | 自然人類学 | 5901 | |
| | | | | 応用人類学 | 5902 | |
| | 農学 | | | 農学 | 育種学 | 6001 |
| | | | | | 作物学・雑草学 | 6002 |
| | | | | | 園芸学・造園学 | 6003 |
| 植物病理学 | | | 6004 | | | |
| 応用昆虫学 | | | 6005 | | | |
| 農芸化学 | | | 植物栄養学・土壌学 | 6101 | | |
| | | | 応用微生物学 | 6102 | | |
| | | | 応用生物化学 | 6103 | | |
| | | | 生物生産化学・生物有機化学 | 6104 | | |
| | | | 食品科学 | 6105 | | |
| 森林学 | | | 森林科学 | 6201 | | |
| | | | 木質科学 | 6202 | | |
| 水産学 | | | 水産学一般 | 6301 | | |
| | | | 水産化学 | 6302 | | |
| 農業経済学 | | | 農業経済学 | 6401 | | |
| | | | 農業土木学・農村計画学 | 6501 | | |
| 農業工学 | | | 農業環境工学 | 6502 | | |
| | | | 農業情報工学 | 6503 | | |
| | 畜産学・獣医学 | | 畜産学・草地学 | 6601 | | |
| 応用動物科学 | | | 6602 | | | |
| 基礎獣医学・基礎畜産学 | | | 6603 | | | |
| 応用獣医学 | | 6604 | | | | |
| 臨床獣医学 | | 6605 | | | | |
| 境界農学 | 環境農学 | 6701 | | | | |
| | 応用分子細胞生物学 | 6702 | | | | |

| 系 | 分野 | 分科 | 細目名 | 細目番号 |
|----------------|----------|---------|--------------------|------|
| 生物系 | 医歯薬学 | 薬学 | 化学系薬学 | 6801 |
| | | | 物理系薬学 | 6802 |
| | | | 生物系薬学 | 6803 |
| | | | 創薬化学 | 6804 |
| | | | 環境系薬学 | 6805 |
| | | | 医療系薬学 | 6806 |
| | | 基礎医学 | 解剖学一般(含組織学・発生学) | 6901 |
| | | | 生理学一般 | 6902 |
| | | | 環境生理学(含体力医学・栄養生理学) | 6903 |
| | | | 薬理学一般 | 6904 |
| | | | 医化学一般 | 6905 |
| | | | 病態医化学 | 6906 |
| | | | 人類遺伝学 | 6907 |
| | | | 人体病理学 | 6908 |
| | | | 実験病理学 | 6909 |
| | | | 寄生虫学(含衛生動物学) | 6910 |
| | | | 細菌学(含真菌学) | 6911 |
| | | | ウイルス学 | 6912 |
| | | | 免疫学 | 6913 |
| | | 境界医学 | 医療社会学 | 7001 |
| | | | 応用薬理学 | 7002 |
| | | | 病態検査学 | 7003 |
| | | 社会医学 | 衛生学 | 7101 |
| | | | 公衆衛生学・健康科学 | 7102 |
| | | | 法医学 | 7103 |
| | | 内科系臨床医学 | 内科学一般(含心身医学) | 7201 |
| | | | 消化器内科学 | 7202 |
| | | | 循環器内科学 | 7203 |
| | | | 呼吸器内科学 | 7204 |
| | | | 腎臓内科学 | 7205 |
| | | | 神経内科学 | 7206 |
| | | | 代謝学 | 7207 |
| | | | 内分泌学 | 7208 |
| | | | 血液内科学 | 7209 |
| | | | 膠原病・アレルギー内科学 | 7210 |
| | | | 感染症内科学 | 7211 |
| | | | 小児科学 | 7212 |
| | | | 胎児・新生児医学 | 7213 |
| | | 皮膚科学 | 7214 | |
| | | 精神神経科学 | 7215 | |
| | | 放射線科学 | 7216 | |
| | | 外科系臨床医学 | 外科学一般 | 7301 |
| | | | 消化器外科学 | 7302 |
| | | | 胸部外科学 | 7303 |
| | | | 脳神経外科学 | 7304 |
| | | | 整形外科科学 | 7305 |
| | | | 麻酔・蘇生学 | 7306 |
| | | | 泌尿器科学 | 7307 |
| | | | 産婦人科学 | 7308 |
| | | | 耳鼻咽喉科学 | 7309 |
| | | | 眼科学 | 7310 |
| | | | 小児外科学 | 7311 |
| | | | 形成外科学 | 7312 |
| | | | 救急医学 | 7313 |
| | | 歯学 | 形態系基礎歯科学 | 7401 |
| | | | 機能系基礎歯科学 | 7402 |
| 病態科学系歯学・歯科放射線学 | 7403 | | | |
| 保存治療系歯学 | 7404 | | | |
| 補綴系歯学 | 7405 | | | |
| 歯科医用工学・再生歯学 | 7406 | | | |
| 外科系歯学 | 7407 | | | |
| 矯正・小児系歯学 | 7408 | | | |
| 歯周治療系歯学 | 7409 | | | |
| 社会系歯学 | 7410 | | | |
| 看護学 | 基礎看護学 | 7501 | | |
| | 臨床看護学 | 7502 | | |
| | 生涯発達看護学 | 7503 | | |
| | 地域・老年看護学 | 7504 | | |

参考資料

「評価結果」のイメージ

〇〇大学

平成 16～19 年度までの評価結果に、平成 20、21 年度の状況を踏まえて以下のとおり第 1 期中期目標期間の評価結果を確定させる。

I 教育に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「教育に関する目標」に係る中期目標（4 項目）のうち、3 項目が「良好」、1 項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 教育の成果に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「教育の成果に関する目標」の下に定められている具体的な目標（○項目）のうち、○項目が「良好」、○項目が「おおむね良好」、○項目が「不十分」であり、これらの結果を総合的に判断した。

（優れた点）

○
.....
.....、優れていると判断される。

※ 「優れた点」「改善を要する点」「特色ある点」については、中項目ごとに記載します。

（「改善を要する点」の改善状況）

○ 平成 16～19 年度の評価において、.....
.....
と指摘したところである。.....
.....
であることから、当該事項は中期計画に照らして、改善されていると判断される。

※ 『「改善を要する点」の改善状況』については、中項目ごとに記載します。

(2) 教育内容等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育内容等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（○項目）のすべてが、「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

(3) 教育の実施体制等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「教育の実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（○項目）のすべてが、「良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

・
・
・

「現況分析結果」のイメージ

〇〇大学〇〇学部

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

【平成16～19年度の評価結果を変更しない場合】

1. 教育の実施体制

平成19年度における現況分析結果は、以下のとおりであった。
期待される水準にある

[判断理由]

・・・・・・・・・・であることから、期待される水準にあると判断される。

上記について、平成22年度に実施した現況分析において、顕著な変化が認められないことから、平成19年度における判定を、第1期中期目標期間における判定として確定する。

【平成16～19年度の評価結果を変更する場合】

2. 教育内容

平成19年度における現況分析結果は、以下のとおりであった。
期待される水準を下回る

[判断理由]

・・・・・・・・・・であることから、期待される水準を下回ると判断される。

上記について、平成22年度に実施した現況分析において、顕著な変化が認められることから、判定を以下のとおり変更し、第1期中期目標期間における判定として確定する。

期待される水準にある

[判断理由]

・・・・・・・・・・であることから、期待される水準にあると判断される。

II 質の向上度

【平成16～19年度の評価結果を変更しない場合】

平成19年度における現況分析結果は、以下のとおりであった。
相応に改善、向上している

「大きく改善、向上している」と判断された事例が〇件、「相応に改善、向上している」と判断された事例が〇件であった。

上記について、平成22年度に実施した現況分析において、顕著な変化が認められないことから、平成19年度における判定を、第1期中期目標期間終了時における判定として確定する。

【平成16～19年度の評価結果を変更する場合】

平成19年度における現況分析結果は、以下のとおりであった。
改善、向上しているとはいえない

「大きく改善、向上している」と判断された事例が〇件、「改善、向上しているとはいえない」と判断された事例が〇件であった。

「改善、向上しているとはいえない」と判断された事例の判断理由は以下のとおりである。

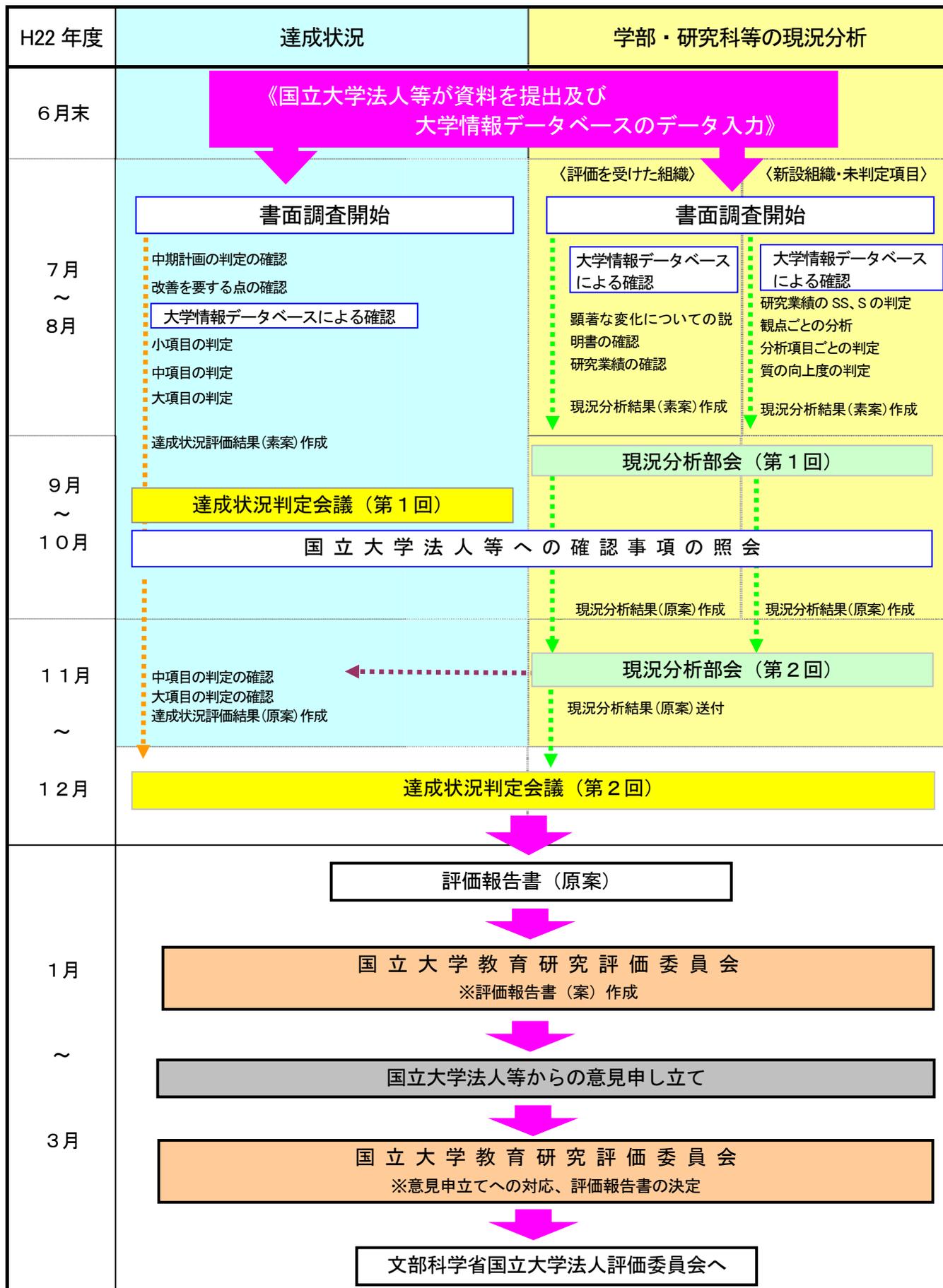
○「(事例名)」については、・・・・・・・・・・であることから、改善、向上しているとはいえないと判断される。

上記について、平成22年度に実施した現況分析において、顕著な変化が認められることから、判定を以下のとおり変更し、第1期中期目標期間終了時における判定として確定する。

相応に改善、向上している

「大きく改善、向上している」と判断された事例が〇件、「相応に改善、向上している」と判断された事例が〇件であった。

確定作業スケジュール



独立行政法人

大学評価・学位授与機構

〒187-8587

東京都小平市学園西町1-29-1

TEL : 042-307-1684 / 1686

E-mail : houjin2@niad.ac.jp